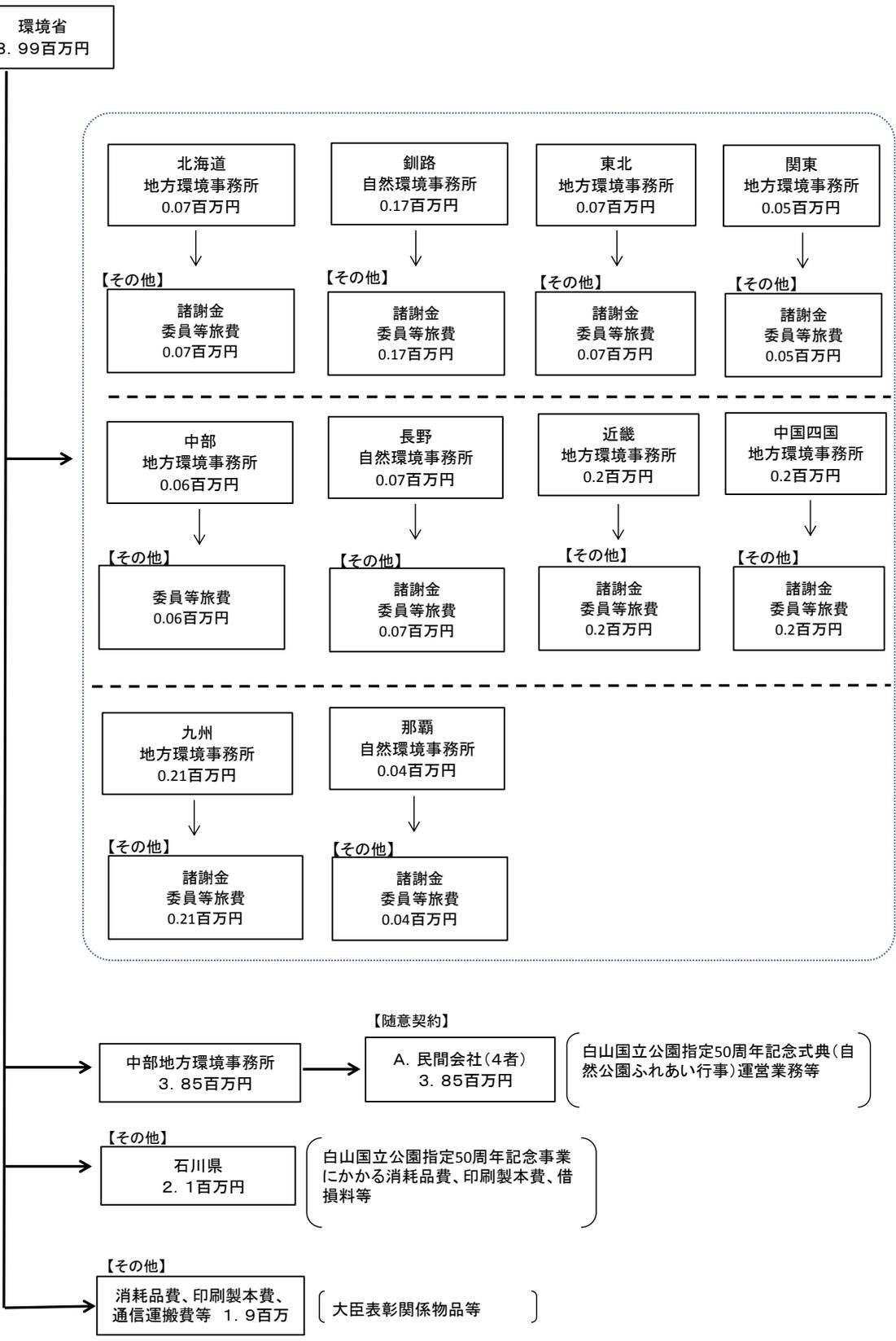


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	自然公園等利用ふれあい推進事業経費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度～		担当課室	総務課自然ふれあい推進室		室長 堀上 勝		
会計区分	一般会計		政策・施策名	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-5 自然とのふれあいの推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	環境基本法 §14③ 自然公園法第3条		関係する計画、 通知等	環境基本計画 生物多様性国家戦略2012-2020				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	自然とのふれあいの機会・情報の提供等により、自然環境保全に関する理解の深化、各種取組への意欲の増進、適正利用の促進等を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国立公園等において、重点推進期間等における自然とふれあい行事を実施するとともに、利用者指導等を行う自然公園指導員及び自然解説等を行うパークボランティアの技術向上のための研修等を実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	3.2	2.5	1.7	2.1	2.1	
		補正予算	0.0	0.0	0.0	0.0	—	
		繰越し等	0.0	0.0	0.0	0.0	—	
	計	3.2	2.5	1.7	2.1	2.1		
	執行額	1.5	1.4	8.99	—	—		
執行率 (%)	47.8%	55.9%	529%	—	—			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	自然公園等利用者数の推移(参考指標) ※自然とのふれあいの推進については、定量的指標に馴染まない適正利用等も含めて総合的に評価することが必要であるため、定量的な指標の設定が困難。			千人	886,844 (22年暦年)	806,510 (23年暦年)	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	重点推進期間の行事参加者数			人	6,547	9,434	10,860	—
単位当たりコスト	当事業は、上記の定量的な指標のみで評価することは適当ではないことから、事業全体として適正なコスト算出をすることは困難。		算出根拠	—				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.8	0.8					
	委員等旅費	1.3	1.3					
	—	—	—					
	—	—	—					
	—	—	—					
	計	2.1	2.1					

事業所管部局による点検						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国が管理する国立公園における利用指導や自然解説等については国が実施すべき事業であり、そういった対応が可能な人材の育成を積極的に実施していくことが重要である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	最新の知見を有する等、事業ごとに専門家等を選定し、依頼している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	パークボランティア、自然公園指導員について、ボランティアとしての活動になるため、他の手段と比較して実効性の高い手段である。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果						
	講師選定の工夫等により効率的な予算執行に努めつつ、本目的に沿った必要な事業を実施する。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状どおり	引き続き効率的な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状どおり	引き続き効率的な執行に努める。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	312	平成23年	195	平成24年	202

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 しているかについて
 補足する)
 (単位: 百万
 円)

費目・用途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載）	A.(株)ケイ・シー・エス					
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
		本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。				
	計		1.68	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ケイ・シー・エス	白山国立公園指定50周年記念式典(自然公園ふれあい行事)運営業務	1.68	随意契約	—
2	(株)橋本確文堂	白山国立公園指定50周年記念誌作成業務	0.96	随意契約 (少額)	—
3	(株)ティーエーシー	白山国立公園指定50周年記念式典オープニング映像作成業務	0.8	随意契約 (少額)	—
4	(株)アポック社	白山国立公園指定50周年宣言看板製作業務	0.41	随意契約 (少額)	—